

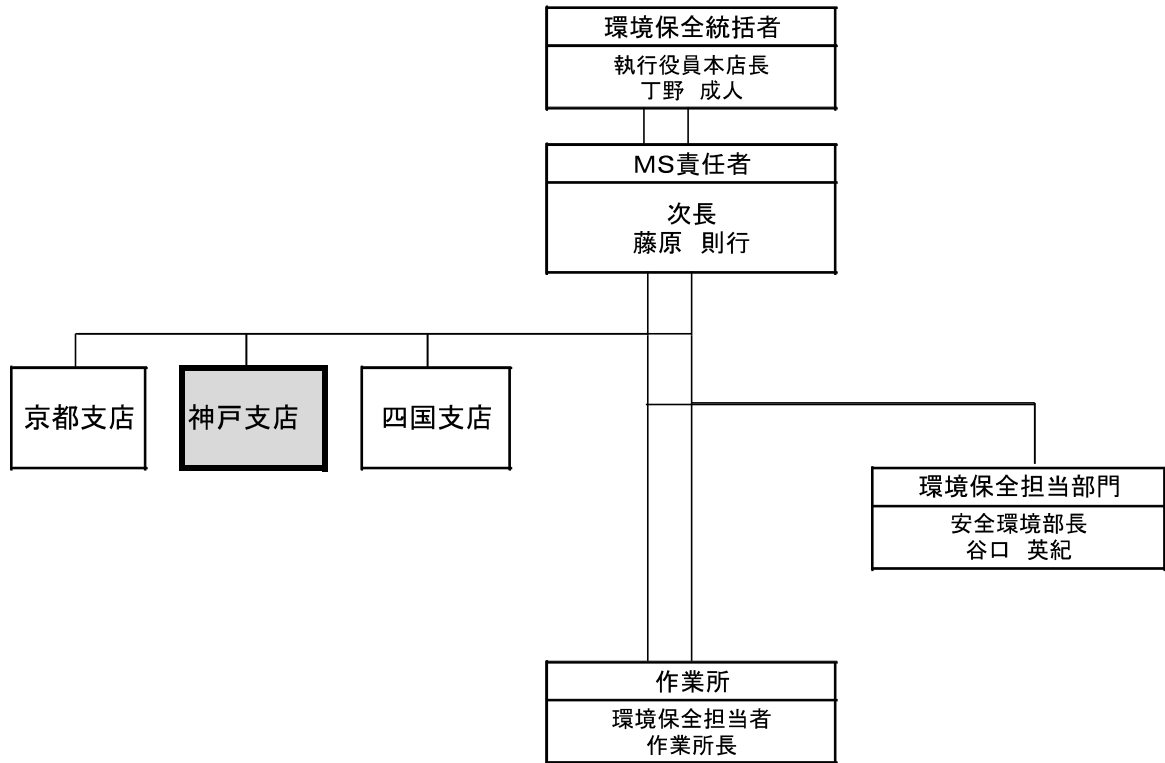
令和元年6月18日

平成30年度「環境保全報告書」

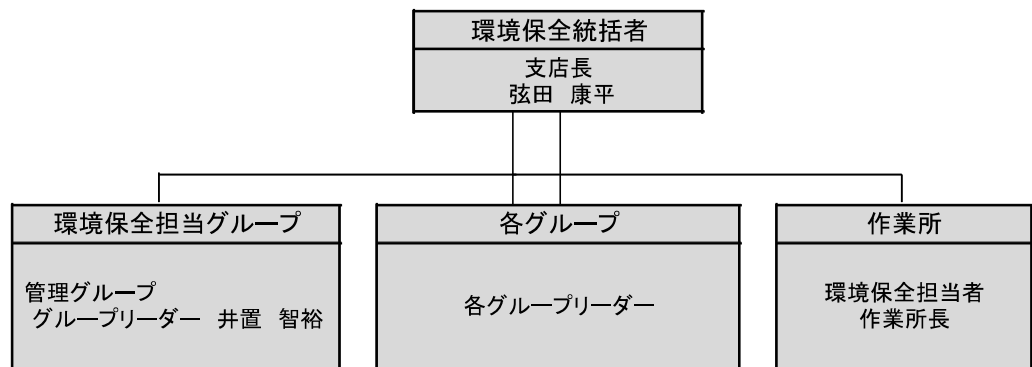
(株)竹中工務店 神戸支店

1. 「環境保全」に関する組織の現況

(1) 大阪本店 環境保全体制



(2) 神戸支店 環境保全体制



## 2. 環境保全に関する基本方針

### 環境方針

「環境と調和する空間創造に努め 社会の持続的発展に貢献する」

### 活動指針

1. 自然共生社会、低炭素社会、資源循環社会の実現に向けた活動を積極的に推進する
2. 環境保全に関する法規、社内例規を遵守し、環境リスク対策を推進する
3. 品質保証体系に基づき確実な環境マネジメントを実施する
4. 教育の実施により環境に対する意識の向上を図る
5. きめ細かい環境コミュニケーションを実施する
6. 社会的な環境活動に積極的に参加する

### 生物多様性活動指針

1. 認識と共有  
事業と生物多様性の関わりを認識し、社内で共有する
2. 環境マネジメント  
生物多様性を環境マネジメント上の重要な課題と位置付け、確実に実施する
3. 研究開発  
生物多様性に関わる知見を集積し、関連する研究・技術開発を推進する
4. 建設活動
  - (1) 企画・設計においては、生物多様性に配慮した計画を積極的に提案する
  - (2) 資材やサービスの調達においては、協力会社とともに生物多様性の保全を推進する
  - (3) 施工においては、施工計画の段階から生物多様性への影響を回避、低減する
5. 自社施設  
自社施設において生物多様性に配慮した土地利用と運用・管理を推進する
6. 教育・啓発  
当社及びグループ会社の役員・従業員、協力会社に対し、生物多様性に関する教育・啓発を推進する
7. 連携・協働  
生物多様性を推進するステークホルダーと連携・協働する

2012年3月1日

社 長

### 3. 重点取り組み 目標・計画

環境目的	環境目標	目標値	環境マネジメントプログラム	実績値
＜日常管理＞				
		■オフィス用品 グリーン調達率 前年実績以上とする (2017年実績:91.8%以上)	1.オフィス用品のグリーン調達を推進する	オフィス用品 グリーン調達率 75.1% (達成率 81.81%)
		■オフィス紙資源のリサイクル率 前年実績以上とする (2017年実績:67.4%以上)	2.オフィス紙資源のリサイクルを推進する	オフィス紙資源の リサイクル率 46.5% (達成率 68.99%)
		■コピー用紙購入枚数 前年実績以下とする (2017年実績:54.80万枚以下)	3.コピー用紙の購入量を削減する	コピー用紙購入枚数 54.80万枚 (達成率 100.00%)
		■消費電力量 前年実績未満とする (2017年実績:6.27万KWH未満)	4.オフィス消費電力量の削減をはかる	消費電力量 6.95 万KWH (達成率 90.22%)
		■CO2排出量 (30.911kg以下) 2018年度の目標消費電力量に CO2係数を掛ける (CO2係数:0.000493)		CO2排出量 34.263kg (達成率 90.22%)

#### 【主に取り組んだ実施事項】

- 事務用品については、可能な限りグリーン用品を購入するようにした。
- 新聞紙や機密書類を廃棄する際は、紙資源としてリサイクルした。
- ペーパーレスに向けた活動の一環として、書類の電子化を推進した。
- コピーや印刷の場合は、両面コピーや2UP機能を用いた。
- 昼休みの一斉消灯、就業時間外の不要箇所の消灯を率先して実施した。
- 外出や会議等、長時間離席する場合のパソコン本体の電源OFFを実施した。
- 昼休みや打合せ等で離席する場合(1時間程度)のパソコンディスプレイの電源OFFを実施した。
- 6月を全店統一の「環境月間」と位置付け、社員への環境意識の向上を図った。
  - ・ オフィスの適正冷房の徹底(28℃)
  - ・ ノーネクタイ及び上着の非着用による執務スタイル

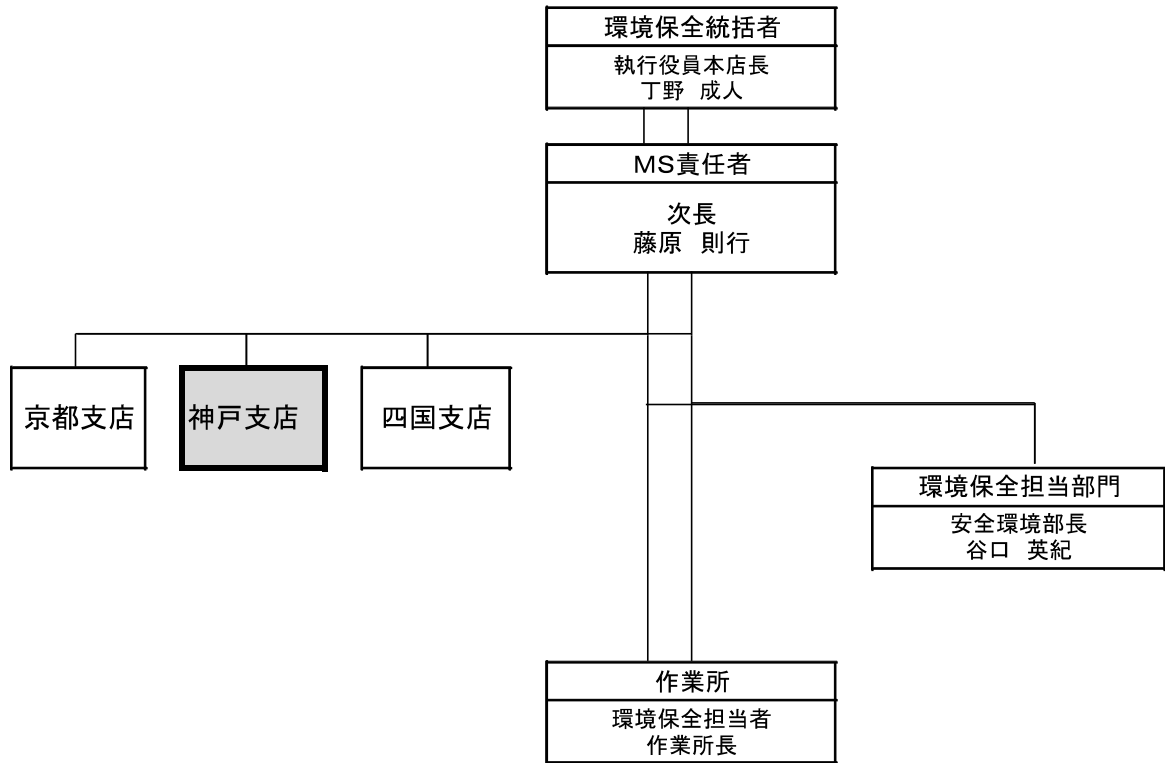
令和元年6月18日

令和元年度「環境保全計画書」

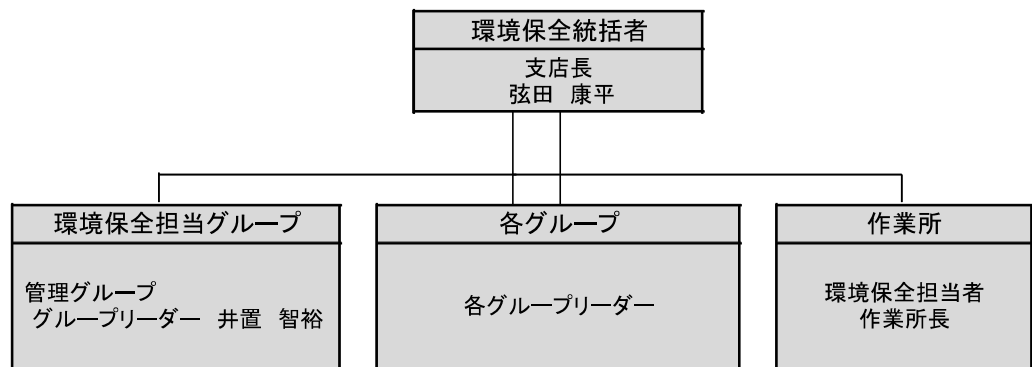
(株)竹中工務店 神戸支店

1. 「環境保全」に関する組織の現況

(1) 大阪本店 環境保全体制



(2) 神戸支店 環境保全体制



## 2. 環境保全に関する基本方針

### 環境方針

「環境と調和する空間創造に努め 社会の持続的発展に貢献する」

### 活動指針

1. 自然共生社会、低炭素社会、資源循環社会の実現に向けた活動を積極的に推進する
2. 環境保全に関する法規、社内例規を遵守し、環境リスク対策を推進する
3. 品質保証体系に基づき確実な環境マネジメントを実施する
4. 教育の実施により環境に対する意識の向上を図る
5. きめ細かい環境コミュニケーションを実施する
6. 社会的な環境活動に積極的に参加する

### 生物多様性活動指針

1. 認識と共有  
事業と生物多様性の関わりを認識し、社内で共有する
2. 環境マネジメント  
生物多様性を環境マネジメント上の重要な課題と位置付け、確実に実施する
3. 研究開発  
生物多様性に関わる知見を集積し、関連する研究・技術開発を推進する
4. 建設活動
  - (1) 企画・設計においては、生物多様性に配慮した計画を積極的に提案する
  - (2) 資材やサービスの調達においては、協力会社とともに生物多様性の保全を推進する
  - (3) 施工においては、施工計画の段階から生物多様性への影響を回避、低減する
5. 自社施設  
自社施設において生物多様性に配慮した土地利用と運用・管理を推進する
6. 教育・啓発  
当社及びグループ会社の役員・従業員、協力会社に対し、生物多様性に関する教育・啓発を推進する
7. 連携・協働  
生物多様性を推進するステークホルダーと連携・協働する

2012年3月1日

社 長

### 3. 重点取り組み 目標・計画

環境目的	環境目標	目標値	環境マネジメントプログラム	実績値
＜日常管理＞				
		■オフィス用品 グリーン調達率 前年実績以上とする (2018年実績:75.1%以上)	1.オフィス用品のグリーン調達を推進する	
		■オフィス紙資源のリサイクル率 前年実績以上とする (2018年実績:46.5%以上)	2.オフィス紙資源のリサイクルを推進する	
		■コピー用紙購入枚数 前年実績以下とする (2018年実績:54.8万枚以下)	3.コピー用紙の購入量を削減する	
		■消費電力量 前年実績未満とする (2018年実績:6.95万KWH未満)	4.オフィス消費電力量の削減をはかる	
		■CO2排出量 (29.051kg以下) 2019年度の目標消費電力量に CO2係数を掛ける (CO2係数:0.000418)		